

新潟県医師会生涯教育講座申請中

(カリキュラムコード：1・2・8・73 各1単位、53 0.5単位)

第101回 新潟消化器病研究会 プログラム

日 時 2015年 2月28日(土) 13:00~18:00

場 所 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター 3F 中会議室301
〒950-0078
新潟市中央区万代島6番1号 TEL 025-246-8400

参加費 1,000円

当番幹事 新潟厚生連魚沼病院 病院長 高橋 達

共 催 新潟消化器病研究会
エーザイ株式会社

<お願い>

※ご発表は、PCプレゼンテーション(液晶プロジェクター1台)でご準備下さい。

※一般演題(発表5分・討議3分)、テーマ演題(発表6分・討議4分)でお願い致します。

●製品紹介

13:00~13:10

プロトンポンプ阻害剤「パリエット錠」 エーザイ株式会社

●開会の辞

13:10~13:15

●一般演題Ⅰ（発表5分・討議3分）

13:15~13:45

座長 橋本 哲 先生(新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部)

1. 家族性大腸腺腫症の胃に発生した胃幽門腺型腺腫の一例

岩田真弥¹⁾ 山川良一¹⁾ 河内邦裕¹⁾ 渡辺 玄²⁾

下越病院 消化器科¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子・診断病理学分野²⁾

2. 最近経験した胃石症の2例。成因及び内視鏡的処置法の検討

小川光平¹⁾ 水野研一¹⁾ 上村顕也¹⁾ 品川陽子¹⁾ 林 和直¹⁾ 阿部寛幸¹⁾ 竹内 学¹⁾

小林正明¹⁾ 津野吉裕²⁾ 寺井崇二¹⁾

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野¹⁾ 水原郷病院 外科²⁾

3. 胃 MALT リンパ腫の除菌無効例および H.pylori 陰性例に対する治療

加藤俊幸 青柳智也 栗田 聡 塩路和彦 佐々木俊哉 船越和博 成澤林太郎

新潟県立がんセンター新潟病院 内科

●一般演題Ⅱ（発表5分・討議3分）

13:45~14:05

座長 藪崎 裕 先生(新潟県立がんセンター新潟病院 外科)

4. 放射線療法により長期無増悪生存が得られた胃癌術後大動脈周囲リンパ節再発の一例

右田和寛 梨本 篤 藪崎 裕 松木 淳 會澤雅樹 野上 仁 丸山 聡 野村達也

中川 悟 瀧井康公 土屋嘉昭

新潟県立がんセンター新潟病院 外科

5. E-PASS scoring system による高齢者胃癌についての検討

田中花菜 平島浩太郎 小杉伸一 石川 卓 加納陽介 羽入隆晃 番場竹生 坂田 純

亀山仁史 小林 隆 皆川昌広 小山 諭 若井俊文

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野

●一般演題Ⅲ（発表5分・討議3分）

14:05～14:50

座長 鈴木 裕 先生(新潟臨港病院 消化器内科)

6. 炎症性腸疾患の長期経過例におけるサーベイランスの臨床的意義

安藤拓也 島田能史 亀山仁史 中野雅人 中野麻恵 田島陽介 小山 諭 若井俊文
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野

7. 進行再発大腸癌症例における抗酸化タンパク質 NQO1 発現の検討

佐藤 洋¹⁾²⁾ 廣瀬雄己²⁾ 田島陽介²⁾ 中野雅人²⁾ 永橋昌幸²⁾ 島田能史²⁾ 亀山仁史²⁾
小山 諭²⁾ 若井俊文²⁾
新潟県立小出病院 外科¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野²⁾

8. 切除不能大腸癌に対する個別化化学療法:FOLFOX 療法施行時の TDM の有用性

宗岡克樹¹⁾ 白井良夫¹⁾ 佐々木正貴¹⁾ 坂田 純²⁾ 神田循吉³⁾ 若林広行³⁾ 若井俊文²⁾
新潟医療センター病院 外科¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野²⁾
新潟薬科大学 薬学部 臨床薬物治療学³⁾

9. 農薬（石灰化硫黄合剤）の服用により下部消化管病変をきたした一例

三尾圭司¹⁾ 橋立英樹¹⁾ 渋谷宏行¹⁾ 若生康一²⁾ 堅田朋大³⁾ 岩谷 昭³⁾
新潟市民病院 病理診断科¹⁾ 同 救急科²⁾ 同 消化器外科³⁾

10. 馬刺し生食による、O157 起因性出血性大腸炎の 3 例

森 茂紀¹⁾ 渡辺史郎¹⁾ 加村 毅²⁾ 根本啓一³⁾
信楽園病院 消化器内科¹⁾ 同 放射線診断科²⁾ 同 病理診断科³⁾

●一般演題Ⅳ (発表5分・討議3分)

14:50~15:20

座長 小林 隆 先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野)

11. pT1b 胆嚢癌に対する外科治療:単純胆嚢摘出術と根治切除との比較検討

丸山智宏 坂田 純 大橋 拓 廣瀬雄己 三浦宏平 滝沢一泰 永橋昌幸 亀山仁史
小林 隆 皆川昌広 小山 諭 若井俊文
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野

12. 膵管癒合不全に合併した膵上皮内癌の1例

吉川成一¹⁾ 星 隆洋¹⁾ 高野明人¹⁾ 山田聡志¹⁾ 三浦 努¹⁾ 柳 雅彦¹⁾
高木 聡²⁾ 谷 由子²⁾ 谷 達夫³⁾ 薄田浩幸⁴⁾
長岡赤十字病院 消化器内科¹⁾ 同 放射線科²⁾ 同 外科³⁾ 同 病理⁴⁾

13. 壊死性膵炎後 walled-off necrosis に対して、経皮経胃的ドレナージが奏功した一例

大関康志 高橋俊作 藤原真一 小林由夏 杉谷想一 飯利孝雄
立川総合病院 消化器センター

●一般演題Ⅴ (発表5分・討議3分)

15:20~15:55

座長 山本 幹 先生(新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部)

14. 十二指腸狭窄を契機に発見された膵十二指腸動脈瘤の一例

仲村亮宏 上田宗胤 星 隆洋 高野明人 吉川成一 山田聡志 三浦 努 柳 雅彦
長岡赤十字病院 消化器内科

15. 11年間経過観察している胃十二指腸穿破合併 IPMN の一例

濱 勇 太田宏信
厚生連村上総合病院 消化器内科

16. IgG4 陰性、膵腫瘍マーカー陽性であった限局性自己免疫性膵炎(AIP)の1例

吉川成一¹⁾ 上田宗胤¹⁾ 星 隆洋¹⁾ 高野明人¹⁾ 山田聡志¹⁾ 三浦 努¹⁾ 柳 雅彦¹⁾
谷 由子²⁾ 薄田浩幸³⁾
長岡赤十字病院 消化器内科¹⁾ 同 放射線科²⁾ 同 病理³⁾

17. 剖検で膵癌の心臓転移を認めた、膵癌と食道癌の異時性重複癌の1例

有賀諭生¹⁾ 熊木大輔¹⁾ 坂牧 僚¹⁾ 山川雅史¹⁾ 平野正明¹⁾ 酒井 剛²⁾
新潟県立中央病院 消化器内科¹⁾ 同 病理診断科²⁾

～ コーヒーブレイク ～

15:55~16:10

●テーマ演題 I (発表6分・討議4分)

16:10~17:00

『NA時代のB型肝炎治療』

座長 大越章吾 先生

(日本歯科大学新潟生命歯学部内科学)

高村昌昭 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野)

1. 長期のアデビル投与により Fanconi 症候群を来した *de novo* B 型肝炎の 1 例

瀧澤一休¹⁾ 渡邊雅史¹⁾ 木村真由紀¹⁾ 坪井清孝¹⁾ 青木洋平¹⁾ 影向一美¹⁾
津端俊介¹⁾ 松澤 純¹⁾ 夏井正明¹⁾ 中村 元²⁾ 本間則行²⁾ 小林大介³⁾
新潟県立新発田病院 消化器内科¹⁾ 同 腎臓内科²⁾
新潟県立リウマチセンター リウマチ科³⁾

2. 当院 RA 患者における HBV 管理と HBV 再活性化

～MTX あるいは生物学的製剤を導入した 698 例の調査から～

柳 雅彦¹⁾ 伊藤朋之²⁾ 上田宗胤¹⁾ 星 隆洋¹⁾ 高野明人¹⁾ 吉川成一¹⁾
山田聡志¹⁾ 三浦 努¹⁾
長岡赤十字病院 消化器内科¹⁾ 同 腎膠原病内科²⁾

3. 当院における B 型肝炎治療における核酸アナログ療法の問題点とその対策

阿部聡司 石川 達 堀米亮子 小島雄一 佐野知江 岩永明人 関 慶一 本間 照
吉田俊明
済生会新潟第二病院 消化器内科

4. B 型慢性肝炎における発癌因子の検討と Household contact の再検討

上村博輝¹⁾ 山際 訓¹⁾ 高村昌昭¹⁾ 横尾 健¹⁾ 兼藤 努¹⁾ 上村顕也¹⁾
土屋淳紀¹⁾ 川合弘一¹⁾ 須田剛士¹⁾ 野本 実¹⁾ 寺井崇二¹⁾
大越章吾²⁾ 小方則夫³⁾ 渡辺 順⁴⁾ 田邊嘉也⁵⁾
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野¹⁾
日本歯科大学新潟生命歯学部内科学²⁾
独立行政法人労働者健康福祉機構 燕労災病院³⁾
厚生連佐渡総合病院 内科⁴⁾ 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部⁵⁾

5. 核酸アナログ中止時における IFN の役割

大越章吾 渡邊和彦 廣野 玄 長谷川勝彦
日本歯科大学新潟生命歯学部内科学

●テーマ演題Ⅱ（発表6分・討議4分）

『DAA時代のC型肝炎治療』

17:00～17:40

座長 石川 達 先生

（済生会新潟第二病院 消化器内科）

山際 訓 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野）

6. 当科と関連施設におけるC型慢性肝炎のSVR後発癌の現状

薛 徹¹⁾ 山際 訓¹⁾ 横尾 健¹⁾ 上村博輝¹⁾ 兼藤 努¹⁾ 上村顕也¹⁾ 土屋淳紀¹⁾
高村昌昭¹⁾ 川合弘一¹⁾ 須田剛士¹⁾ 寺井崇二¹⁾ 石川 達²⁾ 阿部聡司²⁾ 吉田俊明²⁾
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野¹⁾ 済生会新潟第二病院 消化器内科²⁾

7. 当院におけるPEG-IFN/RBV治療null responderの検討

津端俊介 木村真由紀 瀧澤一休 坪井清孝 青木洋平 影向一美 松澤 純 夏井正明
渡邊雅史
新潟県立新発田病院 内科

8. 肝線維化進展C型慢性肝疾患に対するPSE先行IFN-based DAA治療の妥当性

石川 達 阿部聡司 小島雄一 堀米亮子 佐野知江 岩永明人 関 慶一
本間 照 吉田俊明
済生会新潟第二病院 消化器内科

9. ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法の導入初期経験

和栗暢生 五十嵐健太郎 大崎暁彦 小川雅裕 五十嵐俊三 佐藤宗広 相場恒男
米山 靖 古川浩一
新潟市民病院 消化器内科

●閉会の辞

17:40～